

子どもの笑顔を増やすために できること・必要なこと

すまいる・あくしよん 取組事例集

はじめに

「すまいる・あくしょん」とは、コロナ禍の子どもの声から生まれた子どもの笑顔を増やすために、みんなが取り組める行動や方法、条件などを示すものです。
取組事例集では

『子どもが自分自身のために行動できること』

『子どもが必要としていることに対して大人が行動すること』

という2つの視点から、具体的な行動案や既に取組のある事例を紹介します。

年齢やおかれている環境によって取組は変わります。

みんなのできることを考えて、一人ひとりが行動にうつしましょう。

【すまいる・あくしょん 指標マーク】

- ①感染症対策について
- ②子どもたちの声、思いについて
- ③心と身体の健康について
- ④居場所・相談相手について
- ⑤運動・遊びについて
- ⑥体験・学びについて
- ⑦オンライン交流・学習について



感染症を正しく知って
行動しよう



今の気持ちを伝えよう



自分も周りの人も大切に



頼れる人や場所を見つけよう



身体を動かして
しっかり遊ぼう



わくわく感動する
気持ちを持とう



オンラインを上手に
活かそう

● 感染症を正しく知って行動しよう



手洗いは習慣にしよう
自分が健康な時に
おじいちゃんやおばあちゃんに会おう



規則正しい生活習慣を家族で心がけ、
免疫力を維持しよう



感染の拡大状況を見ながら、
出かける先を考えよう

● 正しい情報を選んで伝える

大人が子どもにうつさないように、
感染予防対策を実践する

イベント会場では
感染症が流行する時期や条件に
合わせて注意する

ウイルス対策専用サイトなど
感染予防について正しく理解して
分かりやすく伝える

感染予防に関する最新情報を発信

情報サイトや相談窓口を知らせる



取組事例集／すまいる・あくしょん② 子どもたちの声、思いについて

●今の気持ちを伝えよう



伝えられる人を見つけて、話してみよう



うれしかったこと、嫌だったことを
家族や先生に話そう



オンラインも活用し、学生コミュニティや
周辺の大人と対話する機会をつくろう

●子どもの声を聞いて一緒に考える

子どもたちの声を聞く場を設ける

子どもたちに
いろんな相談窓口があることを伝える
留学生などの相談に多言語で対応する

子どもの心身の状態に気を配り、
声を掛ける

1対1で子どもと気持ちを話し合う時間を取る

テレビやスマホを消して子どもと会話する



取組事例集／すまいる・あくしょん③ 心と身体の健康について

●自分も周りの人も大切に



家族や友達と声をかけあう
ひとりで無理せず、助けを求めていこう



自分がしんどい時や
友だちがしんどそうならすぐに大人に言おう
疲れを感じた時は無理せず休養しよう



自分のいいところを発見したり、
人に感謝する気持ち、思いやりの心を大切にしよう

●心と身体の健康を支え思いやりを育む

子どもの悩みやストレスを理解し、
不安を和らげる

笑顔で子どもと向き合えるよう
自分自身の心身の健康を保つ

子どもの見本となる行動を心掛ける

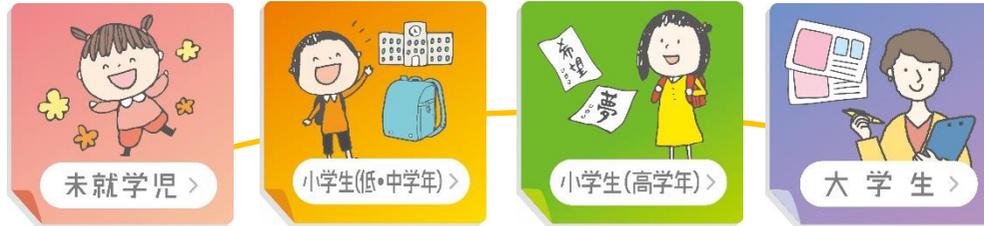
・感染者への差別・偏見・誹謗中傷などを
エールに変える

・みんなで支えあう姿勢を大人が示す



取組事例集／すまいる・あくしょん④居場所・相談相手について

●頼れる人と場所を見つけよう



友だちや近所の人など、話を聞いてくれる人を見つけよう



「こころんだいやる」など困ったときや悩んだときは電話をしよう



歩いて行ける場所やいつも誰かがいてくれる安全な場所を見つけよう

●人とのつながりや喜びを感じられる居場所をつくらう

いつでも子どもが相談できる具体的な窓口を伝える

子どもの困りごとを地域の大人や関係者で共有できる仕組みをつくる

子ども食堂や、コミュニティスペースなど、地域の子どもたちが気軽に立ち寄れる場をつくる

webを活用し、自宅に居ながらも人や社会とつながれる環境をつくる



取組事例集／すまいる・あくしょん⑤ 運動・遊びについて

● 身体を動かしてしっかり遊ぼう



未就学児 >

小学生(低・中学年) >

人とふれあう遊びを楽しもう
広い場所で走り回って遊ぼう



小学生(低・中学年) >

小学生(高学年) >

中学生 >

高校生 >

ストレッチなどに取り組もう
いろんなスポーツにチャレンジして
工夫して体を動かそう



高校生 >

大学生 >

ビワイチにチャレンジしよう
滋賀の魅力を発見する旅に出よう

● のびのびと遊び、育つための環境を守る

体育館や公民館、公園など
子どもが優先して遊べる環境を整える

スポーツ選手との交流や
体を動かせる機会をつくる

運動による効果や必要性を子どもたちに伝え
そのための環境づくりや習慣づけに努める

びわ湖や山、森林など
自然の中で過ごす機会をつくる

●わくわく感動する気持ちをもとう



地域の行事に参加しよう



「しがこども体験学校」や
「子ども版しが探検パンフレット」でしがを楽しもう

「こんなことやってみたい」という
気持ちを大切に、伝えてみよう



今まで経験がないことに挑戦してみよう

ボランティア活動などを通して
新しいネットワークをつくらう

●文化・芸術・自然・社会に触れる 体験を増やす

室内/屋外での遊びを紹介する

親子等で一緒に楽しめる
体験学習等の場をつくる

芸術家や研究員など様々な専門分野で
活躍する人との交流や体験の
機会をつくる

子どもの意見を取り入れたり、
行事等の運営に関わる場や機会を設定する

コロナ禍を乗り越える取組を
学生と一緒に考え、実行する

取組事例集／すまいる・あくしょん⑦ オンライン交流・学習について

●オンラインを上手に活かそう



インターネットを
正しくつかう力を身につけよう



会えない友だちや家族と
オンラインでコミュニケーションしてみよう



生活リズムをくずさないようにしよう
家族でルールを作り、守ろう

●オンラインを活かすための環境を整備をする

仕事や生活のために
オンラインをとりいれる

リズム遊びや学びの機会を
保つためにICT環境を整備する

子ども、親それぞれに向けて、
積極的に好事例や注意点も含め
情報発信を行う

保護者向けに、ネットリテラシー※
に関する情報を提供する
※ インターネットを正しく使いこなすための知識や能力

インターネット上のトラブルから守るため
「フィルタリングの利用」の広報啓発をする